

エラー"; を伴うシャーシ設定インポート障害の トラブルシューティング選択したデバイスの設 定がアーカイブファイルに含まれていない有効 なアーカイブファイルを使用して設定をインポ ートする(&Q)

はじめに

このドキュメントでは、Secure Firewall Management Center(FMC)でマルチインスタンスシャーシ設定のインポートが失敗する問題のトラブルシューティングについて説明します。

前提条件

要件

製品の基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- マルチインスタンスモードのセキュアファイアウォール3100、4200
- Cisco Secure Firewall Threat Defense(FTD)7.4.x、7.6.x、7.7.xおよび10.0.x
- FMC 7.4.x、7.6.x、7.7.xおよび10.0.x

バックグラウンド情報

この記事では、「same-chassis import」と「cross-chassis import」の定義を使用します。

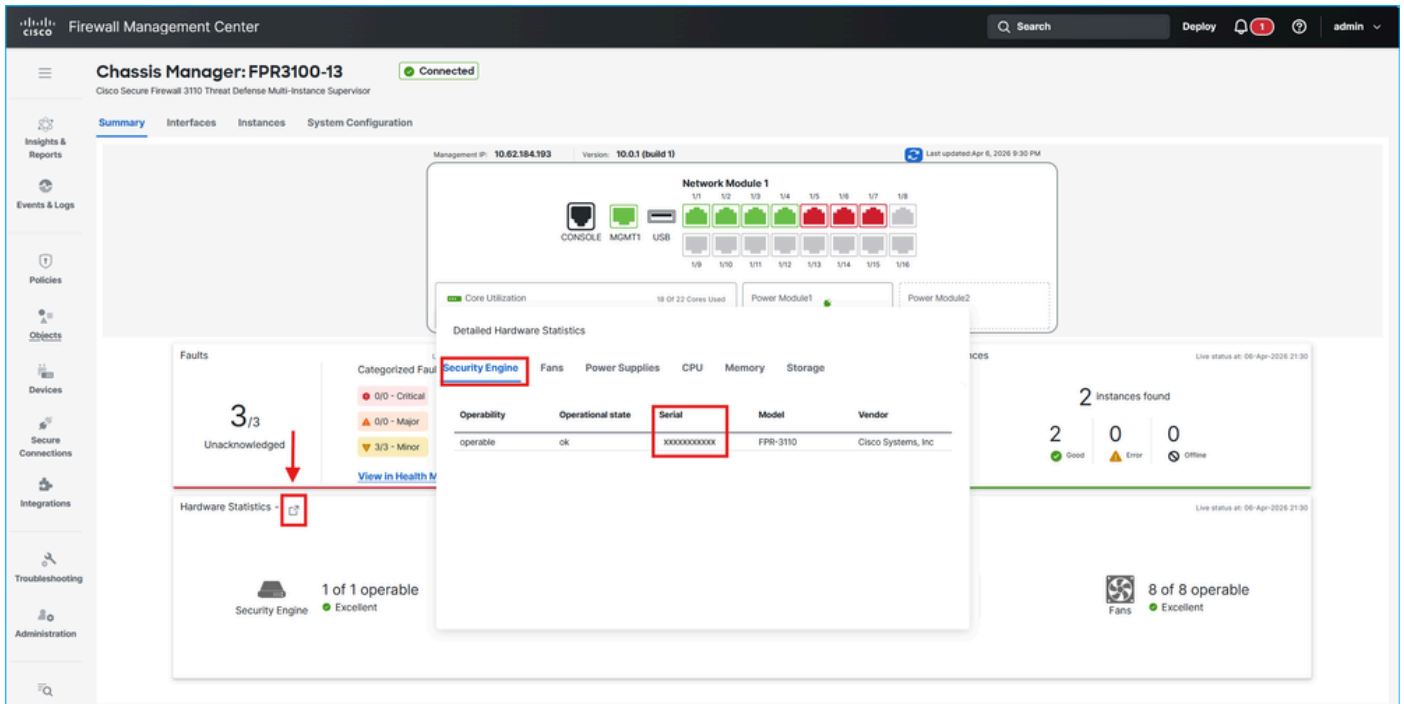
- Same-chassis import: chassis1からエクスポートされた設定がchassis1にインポートし直されます。ソースシャーシとターゲットシャーシのハードウェアモデルが同じであり（たとえば、CSF 4225）、両方のシャーシのシリアル番号(SN)が一致している。FMCは、ネイティブでDevices > Device Management > Manageの順に選択するか、Chassis列でEdit (edit icon) > System Configurationタブ> Import/Exportの順にクリックして、同じシャーシのインポートをサポートします。これは、[コンフィギュレーションガイド](#)の「シャーシ設定のインポートまたはエクスポート」セクションに記載されている要件を満たしている限り有効です。
- シャーシ間インポート: chassis1からエクスポートされた設定がchassis2にインポートされます。ソースシャーシとターゲットシャーシのハードウェアモデルは同じですが、シリアル番号(SN)が異なります。シャーシ間インポートの使用例として、ハードウェア交換(RMA)があります。

シャーシのシリアル番号の確認方法

シャーシのシリアル番号を確認するには、次のいずれかのオプションを使用します。

- FMCユーザインターフェイス：

1. Devices > Device Management > Manage in the Chassis列で、またはEdit (edit icon) > Summaryタブをクリックし、Hardware Statisticsタブを開いて、Serial列を参照します。



シャーシのシリアル番号の確認

- FirePOWER eXtensibleオペレーティングシステムコマンドラインインターフェイス(CLI):

1. コンソールまたはセキュアシェル(SSH)接続を使用してシャーシにログインします。
2. show chassis inventoryコマンドの出力の、Serial (SN) 列を参照してください。

```
<#root>
```

```
firepower-3110#
```

```
show chassis inventory
```

```
Chassis    PID                Vendor
```

```
Serial (SN)
```

```
HW Revision
```

```
-----
1 FPR-3110    Cisco Systems, In
```

```
XXXXXXXXXXXX
```

```
1.0
```

問題

デフォルトでは、10.0.xまでのソフトウェアバージョンを実行するFMCでシャーシ間インポートが失敗し、エラーメッセージ「The archive file does not contain configurations for the selected device.構成をインポートするには、有効なアーカイブファイルを使用してください。また、expertモードでのFMCのpigtailコマンドの出力には、次の行に似たエラーが表示されます。

```
<#root>
```

```
>
```

```
expert
```

```
$
```

```
sudo pigtail all
```

```
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600 [DEV_CONF_IMP] $VAR1 = {
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           'devices' => {
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           '1f117d75-7236-4efa-b633-688065cc0311' => undef
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           },

ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           'currentState' => 'FAILED',

ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           'file' => {
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600             'state' => 'SFO_UNPACKED'
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           },
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           'domain' => 'e276abec-e0f2-11e3-8169-6d9ed49b625f',
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           'type' => 'DEVICE_IMPORT',
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           'securityZones' => {},

ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           'errorMsg' => 'The archive file does not contain configurations

ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600           };
ACTQ: 10-25 15:19:41 pid=22600 Task failure (8d7e3e98-92e4-11ef-a4e3-030a6e8b1f98) Device Configuration
```

この問題は、次の2つの不具合で追跡され、回避策が提供されています。

1. Cisco Bug ID [CSCwn79846](#)
2. Cisco Bug ID [CSCwn13091](#)

ソリューション

クロスシャーシインポートのネイティブサポートは、将来のバージョンで予定されています。回避策として、次のオプションのいずれかを使用します。

1. 実行中のソフトウェアバージョンでCisco Bug ID [CSCwn79846](#)の修正が行われている場合は、シャーシ間の設定のインポートをサポートするために、FMCに特別なフラグが必要です。
2. 実行中のソフトウェアバージョンでCisco Bug ID [CSCwn79846](#)の修正が行われていない場合は、シャーシ間での設定のインポートをサポートするために、Cisco Bug ID [CSCwn13091](#)の回避策が必要です。Cisco Bug ID [CSCwn13091](#)を参照してください。

いずれの場合も、TACに連絡して、回避策の手順を適用してください。

関連情報

- 『[Cisco Secure Firewall Management Centerデバイスコンフィギュレーションガイド、10.x](#)』の「シャーシ設定のインポートまたはエクスポート」セクション
- Cisco Bug ID [CSCwn79846](#)
- Cisco Bug ID [CSCwn13091](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。